

第2日目 5月24日（金）第1会場（くじゃく）

主題Ⅱ-1 集学的治療の1パートとしての免疫療法

9:00 ~ 10:10

座長：太田 哲生（湖南学院 医務課）
馬場 秀夫（熊本大学）

SⅡ-1-1 DNMT阻害剤によるエピジェネティック制御とp53感作樹状細胞ワクチンの併用はMHC低発現の膵臓癌に対するp53ウイルス免疫療法の効果を増強する

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
陶守 貫人

SⅡ-1-2 大腸癌に対するp53武装化腫瘍融解ウイルスが誘導するp53特異的エピトープの同定とp53感作樹状細胞ワクチンの併用によるアブスコパル効果の誘導

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
岡田 尚大

SⅡ-1-3 MHC提示ペプチド変異を標的とした膵癌治療のパラダイムシフト：早期発見から治療まで

九州大学大学院 医学研究院 臨床・腫瘍外科
岩本 千佳

SⅡ-1-4 腫瘍遺伝子変異量（TMB）に着目した、進行再発大腸癌患者における遺伝子検査結果と臨床病理学的検討とPOLE遺伝子によるultra mutation

東京医科大学 消化器外科・小児外科
水谷 久紀

SⅡ-1-5 神経芽腫におけるPD-L1発現と腫瘍組織浸潤リンパ球（TILs）の潜在的役割について

奈良県立医科大学 消化器・総合外科
黒田 靖浩

UP date セミナー 3

10:15 ~ 10:40

神経内分泌腫瘍（NEN）に対するペプチド受容体放射性核種療法（PRRT）の役割
～最新の知見と今後の展望～

座長：大塚 隆生（鹿児島大学 消化器外科）
演者：小林 規俊（横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科）

UP date セミナー 4

10:45 ~ 11:10

膵癌における腫瘍微小環境と免疫応答

座長：中村 雅史（九州大学 臨床・腫瘍外科）

演者：村上 崇（横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学、国立病院機構 横浜医療センター）

特別講演 2

11:15 ~ 12:05

元外科医の野望～免疫療法ですべての癌を治したい～

座長：森 正樹（東海大学）

演者：中面 哲也（国立がん研究センター（先端医療開発センター 免疫療法開発分野））

ランチョンセミナー 2

12:15 ~ 13:05

胆道癌における免疫治療～TOPAZ-1レジメンの使用経験と今後の展望～

座長：遠藤 格（横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学）

演者：小林 智（神奈川県立がんセンター 消化器内科）

共催：アストラゼネカ株式会社

主題Ⅱ-2 集学的治療の1パートとしての免疫療法

13:15 ~ 14:55

座長：國崎 主税（独立行政法人 地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院）

庄 雅之（奈良県立医科大学 消化器・総合外科学教室）

SⅡ-2-1 腸内ケア併施の膵癌術前治療で期せずして認められた旺盛な胚中心反応を伴う tertiary lymphoid structure の誘導による液性癌免疫応答の果たす役割

湖南学院 医務課

太田 哲生

SⅡ-2-2 上部消化管癌における放射線治療とPD-1阻害薬を併用した複合がん免疫療法の開発

福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座, 福島県立医科大学 医学部 輸血・移植免疫学講座

三村 耕作

SⅡ-2-3 cT4食道癌に対する化学放射線治療前の導入療法としての pembrolizumab 併用化学療法の評価

帝京大学 医学部外科

外村 修一

- S II -2-4 腫瘍融解ウイルス療法の長期免疫賦活効果を利用した免疫療法との異時的併用効果
岡山大学医歯薬学総合研究科 消化器外科学
門脇 大輔
- S II -2-5 切除不能胆道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を含む3剤併用薬物療法の治療効果
関西医科大学 肝臓外科
小坂 久
- S II -2-6 新規複合免疫製剤による肝細胞癌の腫瘍免疫原性向上の試み
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座
小佐々 貴博
- S II -2-7 進行再発胃癌に対する nivolumab 併用化学療法の治療成績
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科
佐藤 渉

表彰式・閉会式

15:05 ~ 15:25

基礎研究4

9:00 ~ 10:10

座長：利野 靖 (国際医療福祉大学熱海病院 消化器センター)
五井 孝憲 (福井大学 第一外科)

- B4-1 大腸癌腫瘍免疫微小環境におけるCD4+T細胞に与える肥満の影響
神戸大学大学院 食道胃腸外科学分野
立花 崇明
- B4-2 右側大腸癌の癌関連線維芽細胞では炎症関連パスウェイが亢進している
大阪公立大学 大学院医学研究科消化器外科学
福井 康裕
- B4-3 大腸癌組織における硫黄呼吸に関する代謝物について—case report—
横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学
福岡 宏倫
- B4-4 大腸癌の腫瘍微小環境におけるVEGF経路を標的としたregulatory T細胞の制御方法の開発について
福島県立医科大学 消化管外科学講座
圓谷 秀哲
- B4-5 大腸癌 Stage III症例におけるCD155の再発予測バイオマーカーとしての有用性
福井大学 第一外科
坂本 裕生
- B4-6 大腸癌における周術期の血清Syndecan-1と予後との関連
岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
林 弘賢
- B4-7 新規複合免疫製剤による肝細胞癌腫瘍免疫原性向上の試み
山口大学 大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学
中島 正夫

一般演題4 肝胆膵

10:15 ~ 10:55

座長：永川 裕一（東京医科大学 消化器・小児外科学分野）
松山 隆生（横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学）

04-1 切除不能進行肝細胞癌に対するレンバチニブ投与により肝切除術 (conversion surgery) を施行しえた2例

山梨大学 医学部 第1外科
田中 寛人

04-2 膵癌に対する膵頭十二指腸切除術後補助療法の非完遂因子の検討

山梨大学 第一外科
古谷 元宏

04-3 肝門部領域胆管癌術後再発に対し、GCD療法施行後にConversion surgeryを施行した1例

横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学
星野 夏希

04-4 当院における進行肝細胞癌に対するデュルバルマブ/トレメリムマブ併用療法の検討

関西医科大学 肝臓外科
山本 栄和

ランチョンセミナー 3

12:15 ~ 13:05

オブジーボが変える胃癌一次治療～外科医が考えるオブジーボ併用の意義～

座長：市川 大輔（山梨大学医学部 外科学講座第一教室）
演者：藪崎 裕（新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科）
共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

一般演題5 下部2

13:15 ~ 13:50

座長：前田 清（大阪公立大学 消化器外科）
小澤真由美（横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学）

05-1 再発直腸癌に対するregorafenib投与中に消化管穿孔をきたした1例

横浜市立大学 外科治療学
吉澤 寿々恵

05-2 局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant Treatment の短期成績：Short course radiation と CAPOX 療法

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科
船津屋 拓人

05-3 免疫チェックポイント阻害剤により病理学的完全寛解が得られた T4b 大腸癌の 2 例

名古屋市立大学 医学部消化器外科
籠橋 宣彰

05-4 免疫チェックポイント阻害薬が奏功した切除不能大腸癌の 2 例

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
山本 一雄

一般演題6 上部 1

13:50 ~ 14:25

座長：高橋 正純（神奈川県予防医学協会）

瀧口 修司（名古屋市立大学消化器外科学）

06-1 切除不能進行残胃癌に対し Nivolumab 療法が奏功した一例

東京医科大学病院 消化器・小児外科学分野
武田 裕之

06-2 3 次治療としての Nivolumab 単独療法後に conversion Surgery を施行した多発肝転移を伴う進行胃癌の 1 例

横浜市立みなと赤十字病院 外科
佐藤 圭

06-3 切除不能胃癌に対する免疫療法導入による臨床医療の変化

千葉大学 先端応用外科学，鎗田病院 外科
龍崎 貴寛

06-4 進行胃癌における Retinoblastoma-binding protein 8 の新規免疫チェックポイント阻害剤効果予測バイオマーカーとしての可能性の検討

鹿児島大学大学院 消化器外科
中嶋 太極

座長：掛地 吉弘（神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野）
大島 貴（神奈川県立がんセンター）

07-1 CRP 推移による上部消化器癌に対する免疫チェックポイント阻害薬のアウトカム予測

大阪大学 消化器外科
藤川 馨

07-2 食道癌 ICI 治療効果における末梢血中好酸球発現の意義

大阪大学 消化器外科 臨床腫瘍免疫学
松田 大樹

07-3 切除不能進行・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の治療成績と炎症性マーカーによる治療効果・予後予測

鹿児島大学 消化器外科
夢田 宣裕

07-4 食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療成績の検討

横浜国立市民病院 消化器外科
田中 優作

07-5 食道扁平上皮癌に対する Nivolumab 単独療法の検討

千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学
牧山 展士